

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
令和5年度第1回契約監視委員会審議概要

1 開催日

令和5年5月15日（月）15時30分～16時15分

2 開催場所

外苑事務所大会議室2

3 出席委員（敬称略）

委員長 相葉 和良（弁護士）  
委員 宮本 和之（公認会計士）  
委員 小林 順治（監事）  
委員 大橋 玲子（監事）※Web参加

4 議題

- （1）令和4年度調達等合理化計画の自己評価に関する点検について
- （2）令和5年度調達等合理化計画の策定に関する点検について
- （3）その他

5 審議概要

（1）令和4年度調達等合理化計画の自己評価に関する点検について

令和4年度調達等合理化計画の自己評価に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆一者応札・応募の改善

（質問）意見聴取はどのような方法で行われているのか。

（回答）資料配布をしたが、入札に参加しなかった企業に対して、「仕様のどのあたりが支障になったのか」などをメールにて問い合わせしている。

（質問）問い合わせた企業のすべてから回答いただけるものなのか。

（回答）すべてから回答があるものではない。

（質問）問い合わせにより把握した原因等はデータとしてまとめられているのか。

（回答）回答いただいたものは記録を残している。類似の調達をする際に、仕様を見直せないか、参加資格の条件を緩和できないかなど、改善に向けて活用することで、一者応札だったものが複数者の応札になるといったケースも少しずつ出てきている。

◆消耗品等の共同調達の推進

（質問）コピー用紙の供給に関する共同調達の実施について、具体的にどのように調達しているのか。

（回答）各法人と協定書を締結し、幹事を1年ごとに交代しながら共同調達している。

各法人が使用量を幹事に提出し、幹事が仕様にとりまとめ、公募をかけて調達している。

(質問) 供給する場所は各法人になるのか。

(回答) 法人毎に納品場所を指定する内容となっている。

(質問) 共同調達自体はコスト削減の意味合いで良い取組だと思われるが、一方で、ペーパーレス化も進めているのか。

(回答) 公募の際の資料は全てダウンロードできるようにする、会議資料の印刷・配布を減らす、といった取組を行っている。

(質問) 共同調達については数年前から始まり、当初はコピー用紙に限らず、他の物でも検討されていたと思うが、今後、コピー用紙以外に品目を増やすことはないのか。

(回答) 他の品目も検討していたが、コピー用紙ほど共通の物を調達することがなく、共同調達は難しいという結論になったと聞いている。

文房具なども各法人によって使っている物が異なることから、コピー用紙以外では難しいのではないかという印象を持っている。

## (2) 令和5年度調達等合理化計画の策定に関する点検について

令和5年度調達等合理化計画の策定に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

(質問) 少額随契の件数は多いのか。また、少額随契の範囲はいくらまでになるのか。

(回答) 少額随契だけで3,000件程ある。範囲については、役務であれば100万円を超えないもの、工事であれば250万円を超えないもの、というように規程で定められている。

(質問) 重点的に取り組む分野として「一者応札・応募の改善」とあるが、長期間で見た場合、少しは改善されてきているのか。

(回答) 一者応札・応募状況の割合としてはそれほど大きく変わっていないのが正直なところである。ただし、令和2年度の件数と比較すると、件数的にはそれほど変わっていないが、競争性のある契約と競争性のない随意契約の割合という意味では、少し改善されてきていると読み取れる数値となっている。

(質問) 公告をホームページで出されていると思うが、ホームページの体裁に改善すべき点がないかなど、定期的にチェックはしているのか。

(回答) トップページから調達情報にリンクされており、それほどアクセスしにくい状態ではないと考えている。

2年ほど前からは資料もダウンロードできる仕組みに変えており、事務所に足を運ぶ必要もないため、参加することのハードルは下げられているのではないかと考えている。

## (3) その他

特になし。